

◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊
 随 想
 ◊◊◊◊◊◊◊◊◊◊

懐かしい遊びとその道具(二)

男子の得意なこま廻し

古橋 昭子

(青山学院大学名誉教授・
 理学博士・湘南日独協会会員)

ここ湘南地方は海に近く、だ。夕暮れとなって潮が上
 海水を含んだ砂は細工する がって来て砂上の機闘が波
 のは面白い。ぬらしては固 にのまれてゆくのは何故か
 めを繰返すと硬くなる。機 物悲しかった。

闇を削り上げ球の行路を作 カニや貝が泡を出して砂
 る。ここに硬くした砂球を にもぐってゆくのは可愛ら
 ころがして随分遊んだもの しい。二枚貝は貝の開く側



を下にし
 てゴソゴ
 ソ動きな
 がら砂に
 もぐる。
 巻き貝は
 細い方を
 上にして
 もぐる。
 とここで
 巻き貝を
 ばい貝
 と云うこ
 とから

ペーゴマの名称となってい りの人がずらりと並んで
 る。つまり巻き貝の型をし リールを廻しているのを見
 た。こまの意。巻き貝の るのは面白い。船を出して
 一種を廻(にし)とも云う、沖釣りに夢中人、釣り堀
 だから田の中にいる巻き貝 に休みの日は必ず行ってい
 を「田にし」と呼ぶ。 る人等とお知り合いになっ

こま廻しは男のものだ。 た。釣りは好きではないが
 サイドローは女子にはむ お付き合いで出かけたこと
 ずかしい。勿論アンダース はある。けれども餌をつけ
 ローは私は全々駄目で、皆 るのもこわいしで余り行か
 で旅行に行った時など広い なかった。

沢に出ると、石をサイドス その釣りばか教授宅に伺
 ローで川面に向かって何パウ うと、毛ばりの作り方や釣
 ンドで向う側に届くかと男 り竿の先端のゆれ方まで講
 子は競っていたが、私が投 積されたものだ。教授は終
 げた石はパウンドすること いには「めだか」釣りにも
 なくぼしゃつと沈んで終 挑戦して居られた。あの世
 わったものだ。 でも釣りをしておられるの
 釣り好きは男性に多い。 かしら。

海釣りも岸辺からの投げ釣 (イラスト・金子繁治)